

令和7年度 学校運営の基本方針

校長 軽部 直幸

1 学校理念（学校教育ビジョン）

「 喜びをつくる学校 」

令和6年度に引き続き、「喜び」という価値を追求します（R6は「喜びをつなぐ学校」）。

「喜び」は、子どもたちと教職員、あるいは地域社会の「成長・達成感」、「新しい価値」、「変化」、「可能性」などをさします。

また、仕事が「人の喜びをつくること」だったら最高であると考えています。例えば、米や野菜をつくったり、おいしい料理を提供したりすることは、「人の喜びをつくっている」と言えます。私たち教職員も、そういう中のひとりでありたいと考えています。

この考え方を前提に、学校が、授業や学級経営、学校行事、地域活動等を通して「喜び」を生み出す「工房」の役割を担っていきます。

「喜び」のつくり方は、粘土をこねてなにかをつくるイメージです。型にはめて作るのではなく、多様性や可塑性を意識してつくっていきます。

2 教育目標「創造し 協調する たくましい生徒」にかかわって

私たち教職員の一番の喜び（＝ミッション）は、子どもたちが、教育目標に示されている人格「創造し 協調する たくましい生徒」に成長することです。

その具体的な解釈は以下のとおりです。

○創造（おもしろく）・・・クリエイティブな発想や新しい価値を生み出す力

○協調（やさしく）・・・相手を思いやり、助け合う心

○たくましい（つよく）・・・「おもしろく」と「やさしく」の土台になる健康な心と身体、思考力や感受性

⇒「お（おもしろく）や（やさしく）つ（つよい）な生徒」の育成

＜具体的な生徒の姿＞

思いやりの気持ちを持ち、仲間とのかかわり合いを通して、自他の意見を自信をもって受け入れたり表現したりすることができる生徒

これらの解釈を踏まえ、以下の具体的な力を身に付けさせたいと考えています。

【創造：おもしろい力】

○ 課題の解決に向け、必要な情報を能動的に収集・選択・活用し、自らのアイデアを活かして実践できる力

【協調：やさしい力】

○ 仲間と協働して関わり合い、自他の意見を受け入れたり、表現したりして課題を解決する力

【たくましい：つよい力】

○ 各活動の成果や課題を共有し、さらなる向上を目指して諦めずに挑戦する強い気持ちとやり遂げる力

子どもたちにとっては、自分の「成長」がわかることが大きな喜びになります。そこに学校が大切にしている価値（喜び）を保護者や地域に伝えて、学校の価値を共に創り、一緒に育て、高めていけるよう御協力いただきたいと思います。そして、次に示すように活動を重点化し、その重点を達成するための方策・手立てを講じます。